

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもプラス取手教室		
○保護者評価実施期間	令和7年2月3日		～ 令和7年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23名	(回答者数) 10名
○従業者評価実施期間	令和7年2月3日		～ 令和7年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月17日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個々に合わせた療育内容の実施ができている	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりのペースに合わせた環境を整え、特性をより細かく知ることによって日常生活や学校生活、就労などに繋がる療育に努めている。 提供するツールや課題を常に見直し、個々にあったものを提供している。 お子様の抱える悩みや課題に対して、一緒に解決策を模索したり練習したりとじっくり向き合う。 	専門職員を配置することで、より課題に寄り添った療育を目指していく。
2	安心感があり満足度が高い	<ul style="list-style-type: none"> 働く環境を整え、職員が穏やかに楽しく業務に当たれるようにすることで職員の定着率に繋げている。 勤続年数の長い職員が多いため、療育環境が安定し、継続的にお子様に携わることができている。 	今後も都度労働環境を見直し、風通しの良い職場を継続していけるようにしていく。
3	お子様や保護者様との意思の疎通や情報伝達に配慮がされている。	<ul style="list-style-type: none"> フィードバックの際は、保護者様と担当職員のみを基本とし、ご本人の前では話し辛いこともお聞きできる環境を整えている。 さまざまなツールを用いて、分かりやすく伝える配慮をしている。 	さまざまなニーズに寄り添い、できる範囲での対応を心掛けていきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	外出やイベントをすることができない。	<ul style="list-style-type: none"> 個別療育を希望されている方は、他児との交流を求めている場合もある。 	普段の療育日とは異なる日にイベントを企画していく。
2	保護者間の交流がほぼない。	<ul style="list-style-type: none"> 集団で行うイベント等がない。 希望されていない方もいる。 	複数人が集まるイベントや勉強会などを企画し、希望者が集える環境を整えていきたい。
3	集団療育の提供がない。	個別療育に特化した教室のため、個別療育の中で集団生活に繋がるための支援を提供している。	ニーズを的確に把握し、常に集団生活や社会生活に繋がる療育を意識していきたい。